

玉造厚生年金病院広報誌

夕映え

2008 冬号 vol.15

— 理念 —

1. 私たちは、医療人としての責任を自覚し、研修をおこたらず安全で水準の高い医療の提供に努めます。
2. 私たちは、患者さまが自立した生活を送れるよう身体機能の回復、維持、日常生活動作の改善を支援します。
3. 私たちは、「いつも笑顔で真心こめて」をモットーに、患者様の立場に立った心温まる医療を行います。
4. 私たちは、地域の人々のために、保健・福祉活動の充実に努めます。



看護の現場から

看護部長 白潟 琴江



秋色も深まり、当院自慢の病室の大きな窓からはこの広報誌「夕映え」の表紙にもあるように、美しい穴道湖と一段と澄みわたった空が一望でき患者さまの癒しになっています。

さて、私は今年の4月に前大久保看護部長の後任として着任いたしました。看護職が皆様の期待に応えられるように微力ですが努力してまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

当院の看護職員数は、現在165人、うち看護師は125名です。山陰地域の整形外科の中核病院として、また、リハビリテーションに専門性の高い医療・看護を提供できるよう皆で日々研鑽に努めています。手術前から退院後の日常生活支援まで、一貫して個人に応じた支援を行っており、“**患者さまのQOL（生活の質）を高める看護**”を目指しています。9月からリハビリテーション部門では、脳神経外科の佐々木先生が加わり整形外科だけでなく、脳血管系の患者さまのリハビリテーションもお受けしておりますのでどうぞご活用ください。

最近では入院期間が短くなっており、以前にも増してチーム医療の重要性が高くなっています。しかし、24時間365日、患者さまのそばにいる看護師の役割は重要でチームの要とも言うべき存在であり、“優秀な医療には優秀な看護師が必要！”とされています。では、優秀な看護師、看護とは何で判断すれば良いのでしょうか？

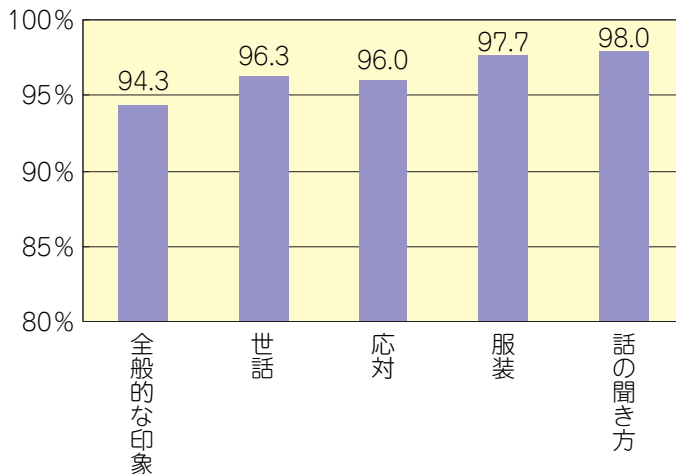
接遇が良ければ患者さん・ご家族の評価は上がりますが、それだけでは医療・看護の質が高いことにはならないのです。自分達が行った看護を振り返り、課題を明確にしてさらに向上を図る、つまり「評価」が重要なのです。

病院全体で取り組んでいる評価として、25年前より毎年10月に「患者アンケート調査」を行っています。平成19年度の看護師の評価は昨年度と比較して「全般的な印象」と「対応」の評価点は同じでしたが、その他の項目では向上していました。

また、看護部は30年前から次の3つの視点でも評価を行っています。

- 1. 構造評価：看護理念に基づき、看護管理が組織的、合理的かつ効果的に行われているか評価する。
- 2. 看護過程評価：患者さまの入院から退院に至る期間に行われた看護を、看護記録を通してその質を評価する。
- 3. 結果評価：ケアの結果から、患者さまにもたらされる成果について次の4つの視点で評価する。
 - ①患者・家族の満足度調査
 - ②転倒・転落事故発生率
 - ③褥瘡発生率
 - ④尿道留置カテーテル関連尿路感染発生率

看護師の評価（H19年度）



現在はアウトカム志向で、看護師の自己満足ではなく結果が重要視されています。平成19年度の患者・家族の満足度調査結果は「良い」は94.4%であり、前年度89.7%より改善していました。高かった項目は「安心して医療処置・看護ケアが受けられた」98.8%、「自分で身体を拭けない時に、看護師に気持ちよく拭いてもらった」「排泄の世話が安心して受けられた」97.5%でした。低かったのは昨年同様「医療チームの連携」76.9%、「何人もの看護師に同じことをいちいち伝えなければならなかった」でした。これは看護師間、または、看護師と他職種間の連携が不十分であると同時に、カルテに記録された情報が次に継続されていないことが分かり、改善策に取り組んでいます。このように毎年の評価結果より課題を明確にしていくと同時に、患者さまの声・スタッフの意見を十分に聴き次に活かしていきたいと思えます。

先日（9月9日）、大変可愛い訪問者がありました。患者さまの病気回復を願って松江市立玉湯幼稚園の園児達が、毎年慰問に来てくれています。「どんぐりころころ」の歌や「ソーラン節」の踊りなど元気に披露し、園児皆で作った千羽鶴と割り箸で作った可愛い小物入れを患者さまに「早く良くなってください」とプレゼントしてくれました。患者さまは「思いがけない訪問でびっくりしたが、みんな可愛い。力をもらいました！」と感激しておられました。子供たちの笑顔が一番の「妙薬」ですね。千羽鶴は外来のホールに飾らせていただいております。玉湯幼稚園の皆様、ありがとうございました。



医療の現場から ～治療トピックス～

変形性膝関節症に対する関節鏡治療

整形外科医長 川合 準



変形性膝関節症とは膝の軟骨がすり減って膝が変形する病気です。初期は立ち上がりや歩き始めに膝が痛む程度ですが、進行すると階段の上り下りが困難になったり、歩く時に常に痛みが出たり、膝の曲がりが悪くなって正座が出来なくなったりします。膝に水がたまって腫れることもあります。末期には外見上の変形が目立つようになり、膝の伸びも悪くなり、日常生活が困難になります。

治療は痛みをとることを目的として行われます。生活習慣の改善に加えて、湿布、鎮痛剤、関節注射等が行われます。しかしこれらの治療を行っても痛みの改善が思わしくない場合は、手術治療が勧められます。おおまかに言うと変形が強い場合は人工関節置換術、変形が比較的軽い場合は侵襲の少ない関節鏡手術を行います。どちらの手術を行うかは、主にレントゲンの変形の程度で決定します。(図1)



図1 レントゲン撮影で見る軽度の変形（関節の隙間が保たれています）

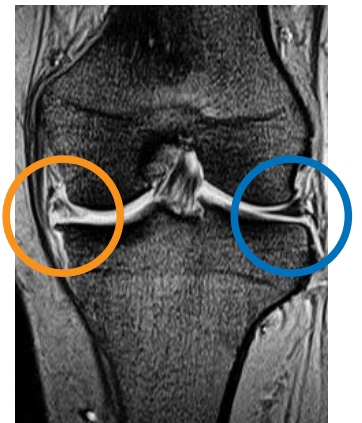


図2 MRI撮影による半月板の断裂
 ●正常な半月板
 ○変性断裂した半月板

関節鏡はカメラを用いた内視鏡手術の一つです。

あらかじめMRIを行い膝の中の状態を評価しておきます。(図2)

手術は下半身麻酔と全身麻酔を合わせた麻酔になります。膝のお皿の周りに約1cmの小切開を2～3個加えます。そこからカメラや手術器具を挿入して、関節内の処置（半月板部分切除、滑膜切除、洗浄等）を行います。手術翌日から歩くことが可能ですが、手術による腫れと痛みがしばらく続きます。術後にヒアルロン酸ナトリウムの関節注射や足底板を合わせて行うこともあります。入院期間はリハビリを含めて1～2週間程度です。関節鏡手術を行うと通常2～3ヶ月で痛みが楽になりますが、痛みの改善が思わしくない場合は人工関節置換術が必要となることもあります。

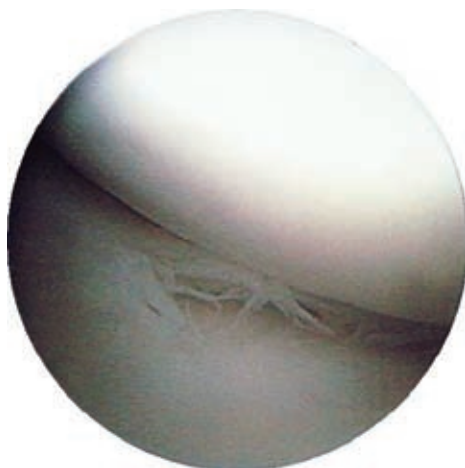


図3 関節鏡で見た半月板の断裂のようす

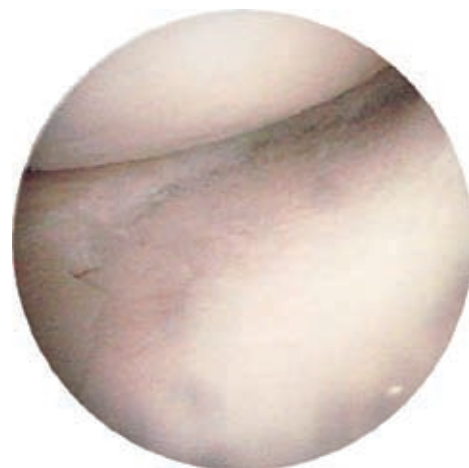


図4 関節鏡で見た半月板部分切除後のようす

こんな記事が紹介されました～ある日の新聞より～

大切なリハビリ

玉造厚生年金病院・小谷センター長に聞く

病院の 実力

～島根編③

人工関節

病気別に医療機関ごとの治療実績を伝える「病院の実力」。くらし健康面と島根・石見版で今回取り上げる「人工関節」手術は、加齢に伴う関節の痛みや関節リウマチの痛みに対して行われる。県内での手術の実施状況や、その効果を探り、手術を受けた患者の声を紹介する。

1割が正座も可能に

玉造厚生年金病院では1手術を行って以来、80年代973年に初めて人工関節 後半から件数が増え、20



「患者さんの喜ぶ顔を見るのがうれしい」と話す小谷センター長(松江市の玉造厚生年金病院で)

07年は400件余りの手術を行った。約3000件はひざ関節、約1000件は股関節、その他は肩やひじ、指の関節手術だ。県外から来られる患者も多く、外来から手術、リハビリ、退院まで一貫した治療を行うため、05年10月に県内初の「人工関節センター」を設置した。センターは、5室の手術室のうち2室が無菌室で、12人の整形外科医が所属している。センターは外来から退院

までを総合的に把握する。例えば、外来で手術が必要と判断すれば、手術棟の看護師が外来へ向いて患者に手術内容を説明し、合併症の有無などをチェックできることも効果的だ。手術を受ける患者の多くは高齢者だが、股関節は、若年者が人工関節の対象となることもある。手術や術後の感染症は、当院では400人に1人の割合で、股関節ではこの10年間起こっていない。

患者や家族同士による「人工関節友の会」も作り、催し物やパンフレット配布で悩みの相談や情報交換ができるようにした。このような患者の側に立った取り組みも進めていきたい。日本人は我慢強いから、米国人などと比べて手術数が少ない。痛みを辛抱して日常生活を送るのはつらいもの。無理をせず、まずは検診を受けてほしい。

人工関節の耐用年数は、手術を受けた人の活動状況にもよるが、多くは20年以上。手術はひざ関節なら、内側と外側を取りかえる全置換術が主流だが、内側だけを取りかえる単置換術は出血が少なく負担が小さい。股関節は骨質に応じて骨セメントを用いる場合と用いない場合があり、患者に合った手術が必要だ。

大切なのはリハビリ。術後2日目起きあがる訓練を始め、歩行器やつえでの歩行訓練などに移る。県内ではリハビリを専門に扱う病院が整備されていないため、当院は入院期間を平均6週間と長めにしている。当院の患者が術後にひざを曲げられる平均角度は、通常より20度前後大きい135度で、あぐらがかけられるほど。150～160度が必要な正座も、1割の患者ができるようになる。

3週間でつえつき歩く

2月に手術を受けた

齋藤 嘉寿子さん81(益田市)

益田市横田町の無職齋藤 嘉寿子さん(81)は7月上旬、玉造厚生年金病院で右ひざの人工関節手術を受け、理学療法士の指導で毎日、リハビリに励む。経過は良好で、術後3週間ほどつえ

を移動する時も壁や手すりなどに寄りかかるほどに、右ひざをかばい、今度は左ひざが腫れたこともあった。掃除や買い物はヘルパー頼みになり、次第に家にこもりがちになったという。

手術を受けようと思ったのは、同じようにひざ痛で夜も眠れないと話していた

友達が同病院で手術を受けた

「勇気が必要だった

手術を決断した。まっすぐに伸びなかった

が、家族の勧めもあり、歩けるようになった

から。」「勇気が必要だった



つえを使って歩く齋藤さん。「早く起きた日は一人でリハビリします」と笑顔で話す(玉造厚生年金病院で)

ひざは現在は伸ばすことができる。多少の違和感はあるが、手術前のような痛みを感じることなく以前より曲げられるようになった。左ひざも痛まなくなり、齋藤さんは「本当にこのよう」と笑顔を見せる。

ひざを痛めてからはほとんどできなかったカテーテルを再開できそうと、それを励みにリハビリに努める。「関節痛に悩む友達が多いが、人工関節を知らない人が多い。退院したら教えてあげたいですね」

※読売新聞 平成20年3月2日(日)付より転載。

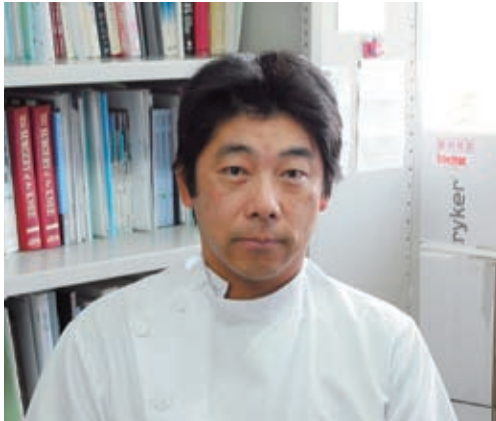
この記事・写真等は、読売新聞社の許諾を得て転載しています。

この記事が無断で複製、送信、出版、頒布、翻訳、翻案等、著作権を侵害する一切の行為を禁止します。

かかりつけ医の先生ご紹介

上垣 医院

[院長 上垣 賢]



昭和36年に縁あって父が、この地に開業し約50年が経ちました。10年前より親子で診療を始めたのをきっかけに7年前に新築し昨年からは院長として診療しております。この間、親子3代が安心して相談できる、かかりつけ医としてまた、専門医への橋渡し役として働いております。

厚生年金病院には、手術の必要な患者さん、詳しい検査の必要な患者さんを紹介し、懇切丁寧な治療をして頂き、皆さんが喜んで帰ってこられ、先生方にはいつも感謝しております。これからも、厚生年金病院で多くの患者さんがお世話になる事と思いますが、宜しくお願い致します。

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|---|---|---|---|---|---|
| 午前9:00～13:30 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |
| 午後4:00～6:00 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | ○ |



TEL : 0854-82-0270
 FAX : 0854-82-0270
 住 所 : 大田市大田イ 319-1

だて整形外科クリニック

[院長 伊達和友]



平成元年、城山西通りに開業し20年目をむかえました。

玉造厚生年金病院は、整形外科の基幹病院として信頼して紹介しております。

術前・術後の患者さんの経過情報を提供していただき、感謝しております。

今後もよろしくお願いたします。

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------------|---|---|---|---|---|---------------|
| 午前8:45～12:15 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 8:45 13:00 |
| 午後3:00～6:00 | ○ | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 |



TEL : 0852-21-1515
 FAX : 0852-21-8290
 住 所 : 松江市黒田町 486-5

地域連携室 TEL 0852-62-1591 / FAX 0852-62-1579

「生活習慣病を考える会」開催しました

爽やかな秋風に頭を垂れた稲穂がなびく季節となった9月4日に、「生活習慣病を考える会」を開催しました。この会は「糖尿病教室」として平成15年から始まり、15回目を迎えた今年から糖尿病だけでなく、肥満・高血圧・脂質異常などを含めた、いわゆる“生活習慣病”を予防するために名称を改め再スタートしたものです。

今回は、「健康被害をもたらす危険な情報に注意しましょう」をテーマにした芦沢内科部長の講演や、島根県糖尿病療養指導士による草津節のストレッチ体操、管理栄養士による「くだもの話」等、多彩な内容で行われました。参加者も56名と、多数のご参加をいただき、活発な意見交換ができて盛況のうちに終えることが出来ました。

現在この会のスタッフは15名で、いろいろな職種と協力して活動していますが、今後も力を合わせて取り組んでいきます。なお、次回は12月4日（木）に、「運動療法」の話を中心に予定しています。多数の参加をお待ちしております。



表紙の写真

和歌山の下津にみかん狩りに行って撮った写真です。江戸時代には紀伊国屋文左衛門が、ここから江戸にみかんを積んで船出したことでも知られています。海岸のすぐ側まで山が迫り、斜面を埋め尽すようにみかんが栽培されていました。これから山一面がみかん色に染まります。排水の良い土地でできたみかんはジューシーで品質が良い物が出来るそうです。あまくておいしいみかんですが、メタボ予防に1日に食べて良いとされるのは2個までです。おいしいからと食べ過ぎは、要注意です。(F.S)

編集後記

この時期になると、毎年その年の世相を軽妙に衝いた流行語大賞が選ばれます。第1回目は1984年にあり、当時のテレビ小説「おしん」に因んだ“おしンドローム”が選ばれています。今年は向えて25回目となり、“ねじれ国会”を含む60語が候補に挙がっていますが、みなさんはどの「言葉」が印象に残ったのでしょうか。さあ今年残すところあと一ヶ月です。明るい話題で、明るい年の瀬を迎えたいものですね。(K.T)

■ 編集・発行責任者 上尾 豊二
〒699-0293 島根県松江市玉湯町湯町1-2
TEL 0852 (62) 1560
<http://tamahosp.jp>

夕映えのバックナンバーはホームページでもご覧になれます。